

日本学術会議 法学委員会「新たな人権の研究」分科会第26期 第6回会合 議事録

■ 日 時：2026(令和8)年1月25日（日）15:00～17:00

■ 会議方式：オンライン（Zoom）

■ 出席者：川嶋、只野〔委員長〕、三成賢次、南野、愛敬、相澤、江島、大河内、木村、葛野、國分、齊藤、榎原、鈴木、建石、中坂、糠塚、林、平田、松本、宮本、來田、小澤（敬称略、名簿順）

欠席者：大久保、笹倉、平山、三成美保（敬称略、名簿順）

議事録作成者：林

■ 議事概要

はじめに、只野委員長より開会のあいさつがあり、小畠副委員長の辞任およびその後任人事はしない旨の報告があった。次いで、今期の検討成果を踏まえ、次期の意思表出に向けた尽力および連携会員の継続参加を求める旨の依頼がなされた。

議題

報告 川崎政司 氏（参議院法制局長）

「人権侵害対策・被害救済立法とそのあり方」

川崎氏より、資料に基づき上記表題についての報告がなされた。

その後、同報告に対する質疑応答が行われた。

只野委員長より、次回分科会は4月以降に開催を検討する旨が示され、閉会した。